

◆【全国発信記事】気仙沼支部

気仙沼港・大船渡港

大型サンマ棒受け網漁船出港 — 大漁願い出船送り —

8月17日、宮城県気仙沼港と岩手県大船渡港から、大型サンマ棒受け網漁船団が前線基地の北海道に向けて一斉に出港した。

気仙沼港では、コの字岸壁で新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、三密を避けて出船送りが行われた。小雨模様のなか、乗組員の家族や関係者が見送りに駆けつけ、従来と比べ少ない人数での出船送りとなった。

大船渡港の魚市場岸壁でも新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で出船送りが行われ、乗組員の家族や関係者に見送られながら、曇天のなか元気よく出港した。

「われわれ漁師も負けられない、大漁めざし頑張る」

気仙沼港の出船送りは、小雨が降り続くなか、漁労長を代表して「第81豊清丸」の中舘捷夫漁労長が「東京五輪で日本人選手は大活躍したが、われわれ漁師も負けられない。大漁目指して頑張る」と見送りの人々にあいさつした。

その後、航海の安全と大漁を祈願する太鼓の演舞が行われるなか、全船が次々と出港した。

大船渡港においても、船が次々に岸壁から離れると、見送りに来た家族や関係者らが福来旗を振り「いってらっしゃい」「いっぱいとってきてね」と声をかけ、船は汽笛を鳴らして応えた。

「海員だより」